

大災害備え児童引き渡し訓練

防府・中関小と幼稚園、合同で

大規模災害などが発生した際に子どもたちを安全に保護者へ引き渡す訓練が19日、防府市浜方の中関小学校であった。実際に発生した場合は隣接する中関幼稚園も同様の措置を取ると予想されるため、小学校と幼稚園が合同で実施した。



迎えに来た保護者と一緒に帰宅する子どもたち＝19日、防府市浜方

全校児童723人は、各教室まで迎えに来た保護者と手をつないで下校。小学校にきょうだいがいる園児25人ほどは小学校の体育館前で保護者らと合流して一緒に帰宅した。

同校は想定される高潮などの自然災害に備え、約10年前から訓練を続けている。新型コロナウイルス感

手順確認し「安心」

感染症の影響で4年ぶりに全校規模で実施した。子どもを迎えに来たパート従業員の勝見昌世さん(42)は、昨年11月に引越して来たため初めて参加。「分かりやすくしてくださる」と思った」といい、長女で3年の勝見美月さん(8)は「災害があってもお母さんが迎えに来てくれるので安心できる」とほほ笑んだ。亀田浩太郎校長(52)は「引き渡しの手順を保護者に理解していただき、災害が起きた際は大人が守ってくれることを子どもたちに伝えたい」と話した。

「引き渡し訓練」

令和5年5月20日
山口新聞